

# 吉野川を釣る！【特別編】

## ～釣り人N思い出の釣果 BEST10～



こんにちは、さすらいの釣り人系河川管理者のNです。私は、ルアーでいろいろな魚を釣ることを趣味としていて、現在までに300種ほどの魚（淡水・海水・軟体動物含む）を釣っています。

徳島で勤務していた間、「Our よしのがわ」の「吉野川を釣る！」の執筆を担当し、62種もの魚を釣ることができました。

連載は前回（Vol.46）で終了しましたが、今回は【特別編】として、これまでに紹介した62種のうち、特に思い出に残っている釣果 BEST10 を振り返ってみたいと思います。



第1位



**サツキマス**  
掲載号:Vol.31

やはり最初は、1番はこいつでしょう。そうです。「サツキマス」です。こいつを釣るのは本当に苦労しました。吉野川に20回は通ったでしょうか？春先に河口から釣り始め、5月末の貞光付近まで、サツキマスの遡上に合わせて行ったり来たりかなり歩きましたね。スズキ、ニゴイ、ウグイ、ライギョ、ブラックバスとサツキ狙いで外道は沢山釣れましたが、本当に釣るまでが長かった印象です。おかげで、釣れたその日のお酒の美味しかったこと、美味しかったこと。今までの長い釣り人生の中でもトップクラスに記憶に残る魚となりました。

第2位



イチモンジタナゴ  
掲載号: Vol.40

2番目は、「イチモンジタナゴ」です。これにも苦労させられました。ルアーで釣れる条件を探るところから始め、いろいろな用水路を巡りましたが、車を駐車する場所もなく、自転車で数十kmも探したこともありました。

結局コンパクトな車載出来る自転車を購入しましたが、それでも釣り上げるまでには3年の年月が必要でした。

第3位



シロヒシタビラ  
掲載号: Vol.36

3番目もタナゴ亜科の「シロヒシタビラ」です。こちらは、人生初タナゴ亜科で、タナゴ類を釣るためにルアーから作り、見えないほどの針を結んだことが、思い起こされます。

釣っても釣ってもコウライモロコという状況の中、初めて釣れたタナゴ亜科。ヒレが白く同定も簡単で印象深い魚でした。

第4位



カネヒラ(掲載号: Vol.36)

婚姻色に気がつかず同定に全く時間が掛かりました。

第5位



カダヤシ(掲載号: Vol.45)

日本メダカが釣れたと思って喜んだのですが・・・



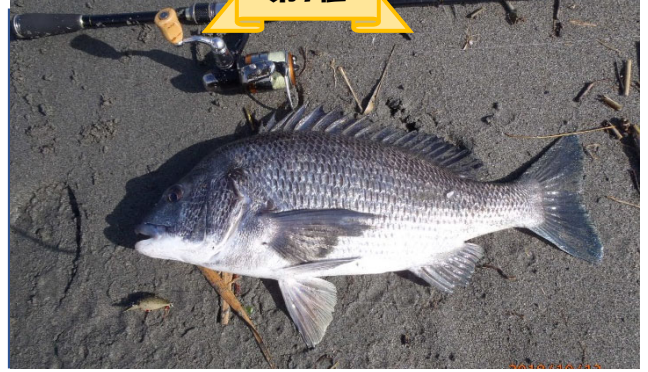
第6位



タイリクバラタナゴ(掲載号:Vol.40)

この魚の最大級の大きさに感動した。

第7位



クロダイ(掲載号:Vol.28)

ハゼ狙いで来たので、釣り上げるのが大変でした。

第8位



ダイナンギンポ  
(掲載号:Vol.44)

古タイヤの中に居て、大変でした。

第9位



ライギョ(掲載号:Vol.41)

サツキマス狙いで、残念ながら釣れてしまいました。

第10位



マダコ(掲載号:Vol.37)

川でマダコが釣れるとは思いませんでした。



長きにわたりご愛読いただき、本当にありがとうございました!(完)